



2018年3月6日

プレスリリース

シリコン・ラボ、PoE 向けパワーデバイスの新製品「Si3406x / Si3404」ファミリを発表 IP カメラ、ワイヤレス・アクセス・ポイント、IP 電話、スマート照明に最適な、効率性に優れた機能豊富な 電力デバイス・ファミリ

[シリコン・ラボラトリーズ](#) (本社: 米テキサス州オースチン、Nasdaq: SLAB、以下: シリコン・ラボ) は、広範な Internet of Things (IoT) 用途に対応するクラス最高の統合と効率性を実現した、Power over Ethernet (PoE) パワーデバイス (PD) の新製品「Si3406x / Si3404」ファミリを発表しました。シリコン・ラボの Si3406x / Si3404 は、必要な高電圧のコンポーネントが、単一の PD チップにすべて搭載されています。Si3406x / Si3404 は、PoE+ 電源で IEEE 802.3 をサポートし、90 % を超える高効率で柔軟な電力変換オプションの提供と、堅牢なスリープ/ウェイク/LED サポート・モード、優れた EMI 耐性を備えています。こうした機能により、高電力、高効率性の PoE PD 用途向けに、開発時のシステム・コストの削減と市場投入期間の短縮を図ることが可能です。

Si3406x は、ロープロファイル仕様 5 mm x 5 mm QFP パッケージで、Si3404 はロープロファイル仕様 4 mm x 4 mm QFN パッケージでサンプル及び量産供給可能です。また、シリコン・ラボは両製品向けに絶縁/非絶縁クラス 2-4 評価キットをご用意しています。Si3406x / Si3404 並びに評価キットの価格・納期については、シリコン・ラボ国内販売代理店にお問い合わせください。製品の詳細情報はこちらをご参照ください (www.silabs.com/poe-pd)。

IoT の急速な拡大により、IP カメラ、スマート照明器具、機能豊富なビデオ IP 電話、高度な 802.11 ワイヤレス・アクセス・ポイント、スマートホーム家電などをつなぐ、PoE+ 接続に対する要求が高まっています。こうした用途では消費電力も高くなるため、PoE+ 規格をサポートする PD デバイスに対する需要が増えます。たとえば、パン/チルト/ズーム機能やヒーター部を搭載した最新のモーターポジション IP カメラでは、電源装置に大きな負荷がかかります。PoE+ テクノロジーは、30 W の電力によってこのような要求の厳しい用途をサポートします。Silicon Labs の Si3406x ファミリは、住宅、商用、産業用の各環境における、新しいクラスの PoE+-対応 IoT 製品に最適な PD インターフェース・ソリューションです。

シリコン・ラボでパワー製品担当バイス・プレジデントを務める Ross Sabolcik は、次のように述べています。「シリコン・ラボの PoE ソリューションは、最大 30 W の広範な電力レベルに対応しており、高い電力が必要な用途にも使用できます。当社の PD ポートフォリオは、業界をリードする統合と高度な機能の特徴としており、開発時の設計を簡素にし、消費電力とコスト低減に貢献します。イーサネット・ケーブルのいずれの側にも導入できる当社の汎用型 PoE ポートフォリオには、新しい PD デバイス、PSE コントローラ、PSE 電力管理 IC などが含まれています」

Si3406x には、PoE+ PD 用途に要求される電力管理/制御機能が統合されており、10/100/1000BASE-T イーサネット接続で供給される高電圧を低電圧の出力に調整します。アーキテクチャの最適化により、経済的な外部コン

ポーネントを使用しながら高パフォーマンスを維持し、プリント基板(PCB)のフットプリントと外部の BOM コストを最小に抑えることができます。

Si3406x ファミリを補完する Si3404 IC は、低電力の 15 W PoE PD 用途に適した、802.3 Type 1 適合の対費用効果に優れた製品です。Si3404 では、低電力の PD 用途で要求されるすべてのインターフェースと制御機能が、非常に小さなフットプリントに搭載されています。

Si3406x にはダイオード・ブリッジと過渡サージサプレッサーが搭載されており、イーサネット RJ-45 コネクタに直接接続することができます。レギュレータのスイッチング周波数を外部抵抗器の値によって調整し、望ましくない高調波を簡単に回避できます。統合された同期ドライバでは二次側電界効果トランジスタ(FET)を制御できるため、電力変換効率が向上します。PSE スイッチとの接続は、自動電源維持シグネチャ(MPS)機能によってスリープ・モードでも維持されます。

Si3406x ファミリの電流モード制御のスイッチング・レギュレータは、複数の絶縁／非絶縁型電源トポロジをサポートしています。このレギュレータは統合された電源スイッチング FET によって補完されています。こうした柔軟性と、シリコン・ラボの包括的な PoE PD リファレンス設計により、重要な電力サブシステムの導入が容易です。

シリコン・ラボラトリーズについて

シリコン・ラボラトリーズ(略称: シリコン・ラボ、NASDAQ: SLAB、本社: 米テキサス州オースチン、www.silabs.com)は、IoT(モノのインターネット)、インターネット基盤、産業オートメーション、民生及び自動車市場向けにシリコン、ソフトウェア、及びシステム・ソリューションを提供する業界大手メーカーです。シリコン・ラボは、エレクトロニクス産業の困難な課題を解決し、性能、省エネルギー、コネクティビティ、設計の簡素化の面で大きなメリットをお客さまにご提供します。ソフトウェア及びミックスドシグナル設計の分野で、卓越した技術力を有する世界クラスのエンジニアリング部門を擁することで、シリコン・ラボは製品開発に携わる皆さまに、初期構想から最終製品に至るまでのプロセス改善に必要なツールをご提供します。会社概要・事業内容詳細は www.silabs.com をご覧ください。

ご注意

このプレスリリースには、シリコン・ラボラトリーズ社の現時点における期待に基づく予測が含まれていることがあります。このような発言にはリスクと不確実性が伴います。様々な重要な要素が原因となって、予測とは異なる結果になることもあります。シリコン・ラボラトリーズ社では、投資家の方々に社の将来性をお伝えすることが重要と考えますが、正確な予測や管理が不可能な事態が今後発生するかもしれません。シリコン・ラボラトリーズ社の財務成績に影響を与え、実績が将来的記述と著しく異なる場合の要因の詳細については、シリコン・ラボラトリーズ社が米国証券取引委員会(SEC)へ最近提出した書類をご覧ください。

Silicon Laboratories, Silicon Labs, S ロゴ, Silicon Laboratories ロゴ, Silicon Labs ロゴは、Silicon Laboratories Inc.の商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。

報道関係者お問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)

TEL: (米国)1-512-532-5871、E メール: dale.weisman@silabs.com

公式ニュースルーム <http://news.silabs.com>,

公式ブログ <http://blog.silabs.com>,

公式 Twitter アカウント <http://twitter.com/silabs>,

公式 Facebook アカウント <http://facebook.com/siliconlabs>,

公式 LinkedIn アカウント www.linkedin.com/company/siliconlabs,

ミアキス・アソシエイツ 河西 E メール: kasai@miacis.com

記事ご掲載時のお問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Y.K.

TEL: 03-5460-2411(代表)

<http://jp.silabs.com>

株式会社マクニカ テクスターカンパニー

〒222-8561 横浜市港北区新横浜 1-6-3 マクニカ第 1 ビル

Tel: 045-470-9841 FAX: 045-470-9844

お問合せ: <https://www.macnica.co.jp/qsmail/tsc/>

<http://www.tecstar.macnica.co.jp/>

以上